

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 11-034

PDCA	事務事業名	企業立地・創業支援事業	部課等名	市民経済部 経済課 企業立地担当	担当	加藤	
					内線等	323	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち 節： 第1節 観光・産業の振興 基本施策： 3. 企業誘致 単位施策： (1) 企業誘致の推進 個別施策： ①立地促進のための支援					
	根拠法令等	—					
	対象・目的	雇用、地域活性化のために新規起業への支援をする。半田市高度先端産業立地促進条例、半田市企業再投資促進補助金などを広くPRすることで、本市への新規進出を促し、そして流出を抑制し、企業立地の推進を図る。					
	目的を達成するための手段・活動内容	①市内外の企業を訪問し、半田市に立地することのメリット及び優遇制度を伝える。また、企業立地に関する交流展示会などに出展参加する。 ②補助制度の認知を高めるため、市報、市ホームページでの紹介及び商工会議所・金融機関などと連携した創業支援事業計画を活用し、PRを行なう。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	30年度	元年度	2年度	単位	
		①企業誘致活動（面談件数）	151	170	83	件	
		②半田市起業・会社設立支援補助金	313	155	0	千円	
		③創業支援活動（相談件数）	13	12	7	件	
		④事業拡大による増収額	160,387	210,340	64,305	千円	
		事業費	80,640	187,811	187,535	千円	
		人件費	9,369	9,315	5,555	千円	
		総事業費	90,009	197,126	193,090	千円	
		活動単位当たりのコスト	30年度	元年度	2年度	単位	
		①面談・相談1件あたりのコスト	57,128	51,181	61,722	円	
	成 果	成果指標	30年度	元年度	2年度	単位	
		①企業誘致活動（誘致企業件数）	実績値	0	1	0	件
			目標値	1	1	1	
		②半田市起業・会社設立支援補助金の支払件数	実績値	2	1	0	件
目標値			8	6	4		
③先端設備等導入計画の認定件数		実績値	—	25	12	件	
		目標値	—	30	30		
C 課題の整理		観点別評価	必要性	有効性		効率性	
	①市の関与の妥当性		妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
	②市民ニーズ		—	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない
	事業の評価・課題	B 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響から、一部の自動車関連企業を除き企業活動の停滞や創業を見合わせる傾向が見られ、誘致企業件数及び起業・会社設立支援補助金交付件数はともに0件、先端設備等導入計画の認定件数は12件と半減した。また例年対面で実施している企業誘致活動や創業支援活動は、感染リスクの高まりから面談件数及び相談件数も大幅に減少した。このような状況下においても、事業拡大による増収額は前年比で減少したものの一定の額を確保しており、これまでの企業誘致・支援の効果として表れている。今後は、コロナ禍でも相談・支援活動を継続できるよう、対面以外での方法を推進していく必要がある。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	拡充推進 今後も引き続き企業誘致を推進し、雇用創出、税収の増大を図るとともに、コロナ禍においても市内で企業活動を行いやすい環境を整備していく。				
		令和2年度の目標	成果指標			目標値	単位
①企業誘致活動（誘致企業件数）					1	件	
②半田市起業・会社設立支援補助金の支払件数					4	件	
	③先端設備等導入計画の認定件数			30	件		